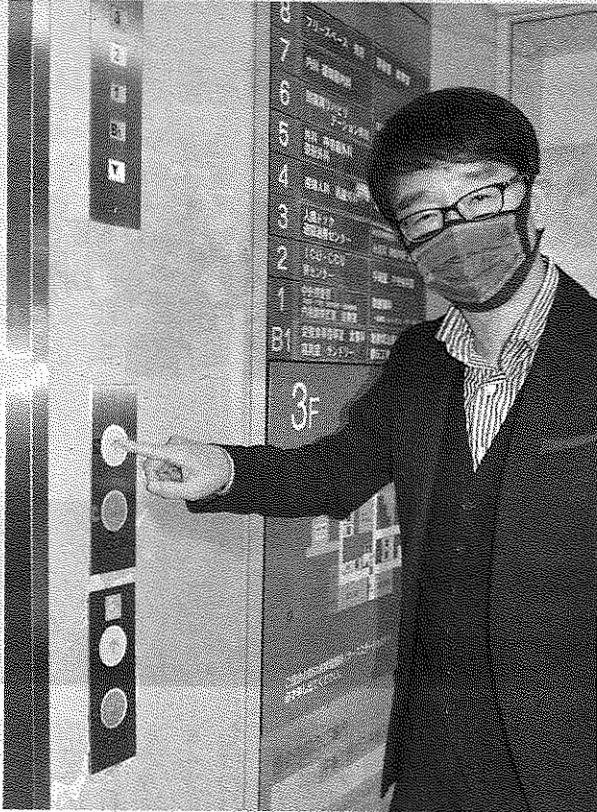


病院エレベーターもウイルス対策

大学発ベンチャー「グッドアイ」が施工

GUDシートをボタンに貼付



桐生厚生総合病院のエレベーターボタンにウイルス対策用のGUDシートを設置した板橋英之教授

球菌、ノロウイルスなども除菌できるほか、新型コロナウイルスが不活化することも確認されており、現在、効果の詳細について群大医学部で実験を進めている。

不特定多数が触れる病院のエレベーターボタンにシートを設置することで、院内感染の防止につながようと、グッドアイが桐生厚生と話し合い、今回の設置につながった。

設置したエレベーターは稼働率の高い3基で、ボタン総数は189。グッドアイ会長で群馬大学大学院理工学部の板橋英之教授らは、シートを直径4センチの円形にカットし、シクハウス症候群を引き起こす揮発性有機化合物が発生しないシ

ル（積水化学工業製）を使って一つ一つのボタンに張り付けた。

室内光にも反応する可視光応答型の光触媒を使っており、効果期間はきわめて長い。同院ではボタンの消毒も毎日実施しているが、常時とはいかない。職員の仕事負担の軽減にもなるのでは」と、板橋教授は効果を期待する。

既製品を発売中

今回設置したシートは、グッドアイが寄贈した。ボタン用シート（直径2.6センチの円形、10枚入りで1980円）はグッドアイのホームページから購入可能。自由にカットできるシール付きシートなども販売している。

まずは桐生厚生病院から

桐生厚生総合病院の。ウイルス（バクテリアオフアイジ）を使うの付いた手でシートを

押しても、2分経過すれば、次に押した人の手には付着しないことが確認されている。大腸菌や黄色ブドウ

桐生厚生総合病院（加藤広行院長、桐生市織姫町）はこのほど、院内189カ所のエレベーターボタンに光触媒銅繊維シート（GUDシート）を設置し、ウイルス対策を施した。GUDシートは、群馬大学発のベンチャー企業「グッドアイ」が開発・商品化したもの。これまで学校や保育園、金融機関などに導入されたケースはあるが、病院での設置は初となる。

GUDシートは銅をコーティングした化学繊維に光触媒（二酸化チタン）を塗布したも